



藤森康隆さん④から牛舎の説明を受ける盛農生

### 農業の担い手確保 盛農生を招きPR

くずまき雇用サポートセンターが主催する「牛とミルクのお仕事見学会」が10月11日に開催され、県立盛岡農業高等学校動物科学科の2年生28人が町を訪れました。

生徒たちは藤森康隆さん（浦子内）の牛舎を見学し、100頭規模の酪農経営について学びました。藤森さんは「農業に関わるさまざまな立場の人の話を聞いて、自分にあった働き方を見つけたい」と将来の担い手に期待を寄せていました。その後生徒たちは、生産者との交流を通じて町の酪農について理解を深めました。

### 観察のポイント学ぶ 秋の星空観察会開催

10月16日、町観光協会(遠藤裕樹会長)主催の「くずまき秋の星空観察会」がグリーンテージで開催され、町民ら47人が参加しました。

観察会は雨天のため室内での学習会となり、講師の齊藤政宏さん(滝沢市)が、葛巻は一度に1,000～2,000個の星が見えることや、今年は木星と土星が近く、例年より明るく見えることなど、観察のポイントを解説しました。戸田結衣さん(小屋瀬小4年)は「いろんな星の名前を知ることができて良かった。次は実際に見たい」と次回の開催に期待を寄せていました。



講師の齊藤政宏さん(円内)の説明を聞く参加者



工事の安全を祈願する参列者の皆さん

### 感染症対策を強化 高砂荘の浴室整備

特別養護老人ホーム高砂荘の浴室等整備工事の安全祈願祭が9月28日、関係者約20人が参列して建設予定地で行われました。

新たな浴室は、新型コロナウイルス感染症対策として、入所者とデイサービス利用者の入浴を分けるために整備されます。鈴木重男町長は「感染症対策を強化し、今後さらに高齢者の皆さんに安心安全な入浴サービスを提供していきたい」とあいさつしました。

浴室は施設の南側に整備され、令和4年2月に完成予定です。

### 戦没者追悼式挙行 平和への努力誓う

9月30日、町遺族会の会員ら約90人が参列し、令和3年度戦没者追悼式が葛巻小学校体育館で挙行されました。

鈴木重男町長は、「国難に殉じた尊い犠牲の上に今日の町があります。住み続けたいと思える町を後世につなぎます」と式辞を述べ、町遺族会の鷲塚勝治会長は「家族を失った悲しみを忘れることなく、恒久の平和への努力を次の世代に継承します」と追悼のことばを捧げました。その後、参列者は一人ずつ慰霊塔に向かって花を手向け、戦没者を悼みました。



慰霊塔に向かい花を手向ける参列者



奨励金を受け取った小西さん④と竹花さん夫妻

### 若者の定住や結婚 奨励金でサポート

若者定住奨励金と新婚ライフサポート金の交付式が10月19日に町長室で行われ、小西まどかさん(茶屋場)が定住奨励金を、竹花光紀さん、結さん夫妻(新町)が新婚ライフサポート金を受け取りました。

鈴木重男町長は「若い人が町で安心して暮らし、これからも地域で活躍していただけるようお願い、各種奨励金を交付しています。全国から町に移り住む人が増えるよう、皆さんからも町の魅力を町外に発信していただきたい」とあいさつしました。



ヤマメの稚魚を放流する葛巻小学校の児童たち

### 豊かな川の恵みを守る 葛巻小で稚魚放流体験

上馬淵川漁業協同組合が主催するヤマメの稚魚放流体験が10月8日、葛巻小学校(佐々木美江子校長、児童102人)の1、2年生の児童31人が参加して開催されました。

児童たちは、学校近くの馬淵川で、バケツいっぱいに入ったヤマメの稚魚を川の流りに任せるように優しく放流し、元気に泳いで行く姿を見て歓声をあげていました。竹花瑠莉さん(2年)は「岸にとどまっているヤマメも逃がしてあげられたのでよかった」と放流した稚魚が大きく育つことを願っていました。